

「平成25年度 学校関係者評価委員会の報告と学校の改善策」による改善結果
 世田谷区立富士中学校
 世田谷区立富士中学校 校長 小松 昌之

学校関係者評価委員会の報告 (回答を求めた項目)	学校の改善策
一学校関係者評価アンケートと自己評価報告書の分析の中から	
I 重点目標について 富士中では、今年度の重点目標として「教育の質の向上を図り確かな学力を育成する」「生活指導の充実に努め、豊かな人間性を育む」「地域教育基盤の確立と開かれた学校づくりを通して、思いやりの心と地域への感謝の心を育成する」の3点を挙げ、それそれに数値目標を設定しています。昨年度クリアしている目標に対して更に高い目標を定め、努力している様子が見受けられるのは大変良いことだと思います。しかし、高いレベルに設定してある数値目標をいかにクリアしていくかが課題として挙げられます。結果に結び付けるための更なる努力が必要です。 今年度は「分からない」という項目の数値を減らすための具体的な対策に取り組み、半数以上の項目を減らしたことは一定の評価に値します。	学校評価を踏まえて設定した重点目標及び数値目標において課題を残しました。特に、「思いやりの心と地域への感謝の心を育成するために、生徒の地域活動、ボランティア活動への年3回以上の参加率」を向上させるために、地域活動、ボランティア活動に対する生徒の理解度の高さを実践に繋げるための方策の工夫に取り組みます。 保護者や地域の方々が、教育活動への理解を一層深めていただくとともに、協力や支援を受けながら、教育活動の更なる充実に向けた取組の工夫と改善に努めます。
重点目標及び重点目標に関連する教育活動については、学校の自己評価や学校関係者評価等の結果を踏まえて、数値による指標（数値目標）を設定し、充実に向けた取組を推進しました。「重点目標」の認知度は、保護者77%、地域91%で概ね肯定的な評価でした。「子どもたちの行動」に関する肯定的評価は、保護者74%、地域92%でした。「ボランティア・地域活動への参加」の地域や保護者の肯定的評価は、昨年度に続き90%を超えました。学習指導の「教員の分かりやすい指導」では、生徒の肯定的評価は88%でしたが、保護者の肯定的評価は65%でした。「授業を通して学力がついた」では、保護者の肯定的評価は、昨年度より6ポイント減りました。 今後、研修や研究をとおして課題を明確にし、指導方法の工夫と改善を一層重ねながら、授業の充実を図ります。併せて、三者教育面談や保護者会等を活用して、これまで以上に、個々の学習の習得状況への認識と理解を深めるための機会を意図的に設けるなどの工夫に努めます。	
II 地域とともに子どもを育てる教育について 地域運営学校に指定されて5年目になりました。クリーン作戦、避難所運営訓練、古着回収、グリーンシアカデミー、挨拶運動や代沢地区文化スポーツ交流会等の地域活動・ボランティア活動を通して、地域との交流を図っています。また「富士の学び舎」の教育活動は、小学校5校と富士中とで作られた世田谷9年教育にのっとり、小中連携も計画的に行われています。それらの活動は継続され、安定しています。引き続き、地域とともに「豊かな人間性を育む」ことを目指した取り組みに期待します。	地域運営学校として、保護者・地域の方々の学校教育に対する声を反映させながら学校運営を推進します。また、義務教育の9年間で育てたい力・資質の実現に向けた取組を充実させ発展させるために、地域の人材及び教育力活用の工夫に努めます。併せて、学校協議会や地区委員会、諸便りなどを通して、保護者・地域の方々に学校への理解をより一層深めていただき、ご支援とご協力をいただきながら教育活動を推進します。
保護者、地域、教職員ともに、肯定的な評価を得ていますが、「学校協議会」、「学校運営委員会」、「学び舎の活動」について、依然として、「分からない」の評価が減少しないので、活動に関する広報をさらに工夫することにより、減少させるように努めています。 また、「ボランティア・地域活動への参加」の地域や保護者の肯定的評価は、昨年度に続き90%を超みました。生徒の自主的な活動を支援する地域及び学校の体制は確立しています。地域や保護者の方々の協力を得ながら、地域とともに子どもを育てる教育の継続と一層の充実を図ります。	

III 未来を担う子供を育てる教育について

富士中は学習の「質と量」を常に大切にしています。質としては、国語・数学・英語における「少人数習熟度別授業」の実施、全教員による授業研究・指導方法の工夫に取り組んでいます。併せて各教科において「ICT活用授業」の推進を図っています。量としては、授業時数の確保に努めています。さらに、放課後学習・夏季補習教室や富士サタスタ、区土曜講習会・朝授業(3年生)等も定着しています。また、セーフティー教室においては、命の大切さを学びました。重点目標の一つである「確かな学力を育成する」と「豊かな人間性を育む」こと、これらの取り組みは高評価のアンケート結果が出ています。今後も維持に努めてください。

本校では、「教育の質の向上」と「教育の量の確保」に努め、具現化に向けた様々な取組は本校の特色になっています。今後も、個に応じたきめ細やかな指導を一層充実させ、基礎・基本や自ら学び考える力を身に付けさせるための指導を充実させます。生徒にとってよりよい学校生活を送ることができるように、規律ある生活態度の育成や規範意識の醸成、より良い人間関係の構築等を目標とした指導に今後も組織的に取り組みます。

学習指導に関する評価は、保護者・生徒ともに肯定的評価において、概ね肯定的な評価です。授業時数の確保に関しては、平成24年度より年間の行事計画等を毎年見直しながら時数確保に取り組んできました。今後も、生徒の実態を加味しながら、授業時数の確保に向けて、一層の工夫を重ねます。

生徒の豊かな心を育むために、より良い支援の在り方を追求するための取組を、2年間、実践しました。併せて、年間5回の生活実態調査やスクールカウンセラーを活用して、生活指導上の課題や生徒のより良い人間関係づくりに向けた指導を展開しました。さらに、支援の充実を図るための取組を組織的に進めます。進路指導に対する生徒の肯定的評価は全ての項目で上昇しましたが、保護者の肯定的評価は減少しました。より一層の指導の充実及び適切な情報提供を心がけるとともに、相談活動の充実に向けた工夫を継続的に図ります。今後も、指導の工夫と改善に取り組み、確かな学力と総合力の育成に努めます。

IV 信頼と誇りのもてる学校づくりについて

学校経営方針に示された目標が、教職員はじめ保護者・地域に浸透され、学校運営の評価が高いのはなによります。ゲストティーチャーの講義も毎年工夫されており、進路指導やキャリア教育とともに多面的な成長に欠かせない刺激を与えてくれています。スクールカウンセラーの認知度も安定しています。今年度は昨年度の授業日数や、行事変更等からくる様々な項目のマイナス数値が一変し、ほとんどのアンケート結果がプラスに転じました。引き続き今の状態が保持できるよう、また、今後の取り組みにもたゆまぬ努力をお願いします。

学校に対する保護者や地域の願いを理解し、学校経営方針に基づいた教育活動の推進に継続して取り組みます。生徒が自己の将来に見通しを持ちながら学校生活に臨み、自己実現に向けて意欲的に取り組むことができるようにするための指導の工夫として、ゲストティーチャーを活用します。また、個に応じたきめ細やかな指導を充実させるために、スクールカウンセラーや関係機関と連携した指導をより一層充実させます。

学校経営方針に示された目標が、教職員には浸透しているものの、保護者・地域においては学校の運営評価は昨年度より全体的に下がりました。学校に対する保護者や地域の願いを理解し、学校経営方針に基づいた教育活動の推進に継続して取り組むとともに、保護者・地域にも浸透するように情報を幅広く発信するように努めます。スクールカウンセラーに関しては、今年度から1年生全員に対し、面談が実施されました。今後も学びの場を一層充実させるために、地域の方々やゲストティーチャーとの関わりを大切にします。

V 教育環境の整備について

今年度は、長年の課題であった校舎西側トイレの改修工事が終わりました。老朽化した冷水器5機のうち4機が新しくなりました。教育環境がかなり充実してきたことに感謝いたします。今後は未設置の教室へのエアコン設置、体育館棟トイレの改修や図書室の照明等の環境改善もご検討ください。

校舎西側トイレの改修、冷水器の入れ替えにあたりましては、区や保護者の方々のご理解の下、整備を進め充実を図ることができました。今後も教育環境の整備に向けた情報を家庭・地域の方々と共有し、区との連携を図りながら継続的な改善に取り組みます。

学校に分割された予算による修繕、また学校主事による施設・環境の改善に努めていますが、老朽化に伴う修繕等の必要な箇所が突然的に発生するのが現状です。また、エアコンの設置されていない教室に関する課題は改善していません。生徒にとって安全・安心な生活を保障するためにも、安全点検に努めることをはじめ、引き続き区教育委員会とともに施設・設備の充実に取り組んでいきます。

VII 学校生活全般について

昨年度は、行事が余儀なく変更されたこともあり、アンケートのマイナス数値が多岐にわたりました。しかし、開校記念日を授業日としたり、合唱コンクールを以前のような時期に戻したり等、時間のやりくりを工夫されています。その結果、全体的にプラスの数値に転換されました。質の高い教育活動を追求する日頃の努力に感謝いたします。より生徒達の意欲を引き出し、富士中生全員の幸せな未来を応援していく姿勢をこれからも続けてほしいと思います。

教育計画に沿った教育活動を円滑に進めるためには、時数確保が常に課題となり、時数確保のためには、工夫や変化が求められます。これからも、生徒・保護者・地域の方々に教育計画の内容を正しく認識していただくための説明を継続し、理解を得ながら教育活動を進めるように配慮いたします。

一人ひとりの生徒が、教育活動の様々な場面で自己のもつ能力を十分に発揮しながら成長していくように、個に応じたきめ細やかな指導を組織的に実践するための取組を継続させます。

授業時数の確保に関しては、平成24年度より年間の行事計画等を毎年見直しながら時数確保に取り組んでおり、今後も、生徒の実態を加味しながら、授業時数の確保に向けて、一層の工夫を重ねます。

学校生活全般に関わる「学校生活が楽しい」「中学校が好きである」の生徒の肯定的評価は、昨年度に続き80%を超えるました。落ち着いた環境の中で、個々の生徒が充実した学校生活を送ることができるように、組織的な指導の充実及び個に応じたきめ細やかな指導・支援に一層努めます。